行ってこーわい 会ってこーわい

「矢吹穏 さん」

地域の特産品を全国へパン作りにかける熱い思い



伊予農業高等学校2年生の矢吹穏さん=西高柳 =。食品化学科に在籍する矢吹さんは、1月19、20 の両日に静岡県伊豆の国市で開催された「第13回全国高校生パンコンテスト」の手仕込み部門に出場しました。指定された分量・配合でシンプルなホットドッグパンを作るこの部門は、水分量のみ自分で選択することができます。水分量を多くすれば柔らかくなる反面、まとまりにくくて難しいというパン作り。矢吹さんは、「ふっくらしたおいしいパンが作りたい」との思いで1番多い水分量に挑戦しました。全国の舞台では焦りが出てしまい惜しくも日本一を逃した矢吹さんですが、「オリジナルパンを作る上級者部門で、来年こそは賞を取りたい」と次の目標を掲げています。

来年の大会では、「地域の特産品を使ったパンを作って全国に発信したい」と意気込む矢吹さん。 学校の授業でも、町の特産品はだか麦を使ったラ スクやピザの開発に取り組んでいます。

開発したものは、「えひめ花まつり」などのイベントで販売したり、年に2回程度放課後に実施している「伊予農力フェ」で先生や友人に振る舞ったりして、その腕を磨いている矢吹さん。「とにかくおいしいものを作りたい」と頑張る矢吹さんの挑戦は、まだ始まったばかりです。





1 にっこりほほ笑む矢吹さん 2 仕上がりの 9 割が決まるという こね作業 3 一緒に全国大会に 出場した先輩たちと







たことってないですね。(酒井)なことの大切さに気付きました。との大切さに気付きましたで取り組んだことが誰かを笑顔にり組んだことが誰かを笑顔にするとしたら、こんなに素敵なことってないですね。(酒井)







教室が終わり、サインをも をいに選手たちに集まる子ど もたちを見て、「日本代表から サインをもらえるなんてうら やましい…」と感じました。こ こで教わった子どもたちが成 長して、全国、世界へと羽ばた くことを願っています。(蔭谷)

VEGETABLE OIL INK